

住宅用太陽光発電・HEMS コントローラ間 アプリケーション通信 インタフェース仕様書

Version 1.10



改定履歴

日付	版	説明
2014/11/25	Ver.1.00 Draft	
2015/3/9	Ver.1.00 2nd Draft	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1 章 図 1-2 アダプテーション層の注記を修正 ・ 2.4.1 応答を受信した場合に関する記載を追記 ・ 2.4.2 応答待ちタイマーについて記載を修正 ・ 2.4.3 再送処理に関して記載を追記 ・ 3.1.2 ESV の値を明記
2015/3/30	Ver.1.00	<ul style="list-style-type: none"> ・ 2.3 に HEMS コントローラに関する記述を追加
2018/10/22	Ver.1.10 Draft	<ul style="list-style-type: none"> ・ 第 1.2 節 参照規格の Release K 以降に変更 ・ 第 2.3 節 表 2-3,2-4 を改定 ・ 第 2.4.2 項 応答待ちタイマーを修正 ・ 第 2.4.4 項 処理対象プロパティカウンタ数を変更 ・ 第 2.4.5 項 プロパティ値書き込み要求を変更 ・ 第 3 章 図 3-1 を改定 ・ 第 3.1.3 項 図 3-2 を修正 ・ 第 3.1.4 項 「住宅用太陽光発電属性情報取得」を改定 ・ 第 3.2 節 随時動作を変更 ・ 第 3.4 節 「遠隔操作」(オプション) を追加 ・ 第 4 章「HEMS コントローラが酒配慮すべきポイント」を追加
2018/12/21	Ver.1.10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 改訂履歴 Ver.1.10 Draft の説明を修正 ・ 第 3.1.4 項 本文及び図 3-3 の誤記を修正 ・ 第 3.2.2 項 本文及び図 3-5 の誤記を修正 ・ 第 3.2.3 項 (2) ①の説明文を追加、修正 ・ 第 4.2 節 説明文を追加、修正 ・ 第 4.3 項 ①に記載の URL を修正

- ・ エコーネットコンソーシアムが発行している規格類は、工業所有権(特許,実用新案など)に関する抵触の有無に関係なく制定されています。
エコーネットコンソーシアムは、この規格類の内容に関する工業所有権に対して、一切の責任を負いません。
- ・ この書面の使用による、いかなる損害も責任を負うものではありません。

目次

第1章 はじめに.....	1-1
1. 1 用語.....	1-3
1. 2 参照規格.....	1-3
第2章 アプリケーション層.....	2-1
2. 1 ECHONET オブジェクト (EOJ)	2-1
2. 2 ECHONET LITE サービス (ESV)	2-1
2. 3 オブジェクト別搭載 ECHONET プロパティ (EPC)	2-2
2. 4 アプリケーション動作.....	2-4
2. 4. 1 連続要求.....	2-4
2. 4. 2 応答待ちタイマー	2-4
2. 4. 3 再送処理.....	2-4
2. 4. 4 処理対象プロパティカウンタ (OPC) 数.....	2-4
2. 4. 5 プロパティ値書き込み要求.....	2-5
第3章 標準動作.....	3-1
3. 1 立ち上げ動作.....	3-3
3. 1. 1 ECHONET Lite ノード立ち上げ処理.....	3-3
3. 1. 2 住宅用太陽光発電検索処理.....	3-3
3. 1. 3 ECHONET Lite 属性情報取得.....	3-3
3. 1. 4 住宅用太陽光発電属性情報等取得.....	3-4
3. 2 随時動作.....	3-7
3. 2. 1 住宅用太陽光発電状態監視.....	3-7
3. 2. 2 出力制御スケジュール取得.....	3-9
3. 2. 3 出力制御.....	3-10
3. 3 異常時動作.....	3-11
3. 3. 1 異常発生状態通知	3-11
3. 4 遠隔操作 (オプション)	3-11
3. 4. 1 遠隔操作時に HEMS コントローラで実施すべき処理.....	3-11
3. 4. 2 遠隔操作時の出力制御設定1・出力制御設定2の設定と更新.....	3-11
3. 5 その他.....	3-12
第4章 HEMS コントローラが配慮すべきポイント.....	4-1
4. 1 住宅用太陽光発電に関する留意事項.....	4-1
4. 2 出力制御に関する留意事項.....	4-1
4. 3 遠隔操作で考慮すべきポイント.....	4-2

目次

図 1-1	接続構成.....	1-1
図 1-2	想定ネットワークスタック.....	1-2
図 3-1	標準的な動作シーケンス例.....	3-2
図 3-2	ECHONET Lite 属性情報取得シーケンス例.....	3-4
図 3-3	住宅用太陽光発電属性情報等取得シーケンス例.....	3-6
図 3-4	住宅用太陽光発電状態監視シーケンス例.....	3-8
図 3-5	出力制御スケジュール取得シーケンス例.....	3-9
図 3-6	出力制御シーケンス例.....	3-10
図 3-7	出力制御設定1のシーケンス例 (遠隔操作設定使用時)	3-12

表目次

表 2-1	ECHONET オブジェクト (EOJ)	2-1
表 2-2	ECHONET Lite サービスコード (ESV).....	2-1
表 2-3	機器オブジェクト (スーパークラス規定)	2-2
表 2-4	機器オブジェクト (住宅用太陽光発電クラス規定)	2-2
表 2-5	HEMS コントローラの応答待ちタイマー値.....	2-4

第1章 はじめに

本仕様書は、UDP/IP_v6 通信上で ECHONET Lite をアプリケーションプロトコルとして使用した住宅用太陽光発電～HEMS コントローラ間のアプリケーション通信について、異メーカー間の相互接続性を担保するために必要となる事項を規定する。

本仕様書で想定する構成を図 1-1 に示す。

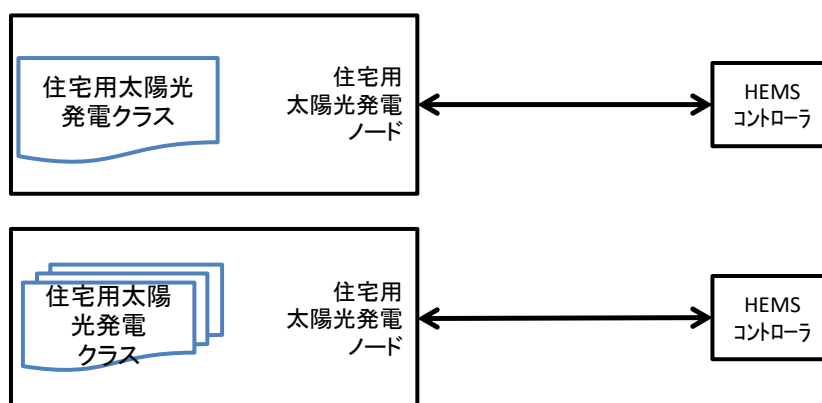


図 1-1 接続構成

図 1-1 に示すように、1 ノード中に 1 機器オブジェクトが搭載される場合だけでなく、1 ノード中に複数の機器オブジェクトが搭載される場合がある。HEMS コントローラは、1 ノード上に複数の機器オブジェクトを構成するノードについても対応することが必要である。

HEMS コントローラは、複数の機器を収容することを考慮する。収容する台数については、HEMS コントローラの仕様次第である。

また住宅用太陽光発電は、同一システム内に複数の HEMS コントローラが接続している場合、要求受信後、一定の期間、HEMS コントローラからの要求を受付けないことがある。

図 1-2 に本仕様で ECHONET Lite を動作させるための想定ネットワークスタックを示す。原則 UDP/IP_v6 上でアプリケーションプロトコルとして ECHONET Lite を動作させる。基本は IPv6 を用いるものとするが、使用する伝送メディアによっては、IPv4 から IPv6 へのマイグレーションに関して、市場動向に従うものとする。

Application層	ECHONET Lite(アプリケーション)
Transport層	UDP
Network層	IPv6 (IPv4)
(アダプテーション層) MAC層	(6LoWPAN*1) (特定のMAC層の想定なし)
PHY層	(特定のPHY層の想定なし)

※1)IPv6利用時、かつ伝送メディアに依る

図 1-2 想定ネットワークスタック

ECHONET Lite 通信開始前に必要となる各通信メディア固有の接続処理については、本仕様書の範囲外である。本仕様書ではこれらの通信メディア固有の接続処理が完了していることを前提とし、ECHONET Lite によるアプリケーション通信について述べる。

1. 1 用語

HEMS コントローラ	本仕様書ではECHONET Liteにて住宅用太陽光発電と通信するノードを指す。
住宅用太陽光発電	本仕様書ではECHONET LiteにてHEMS コントローラと通信し、各種住宅用太陽光発電の情報を提供するノードを指す。

1. 2 参照規格

本仕様で参照する規格を以下に挙げる。本仕様書に明示的な説明がない事柄については、規格文書に従う。

[EL] The ECHONET Lite Specification Version 1.01 以降

[ELOBJ] ECHONET Specification APPENDIX: ECHONET 機器オブジェクト詳細規定
Release K 以降

第2章 アプリケーション層

アプリケーション層として、ECHONET Lite[EL]を使用する。本仕様書の記載に基づくノードは、[EL]に規定される必須機能を全てサポートしなければならない。

2. 1 ECHONET オブジェクト (EOJ)

住宅用太陽光発電及びHEMS コントローラが搭載する ECHONET オブジェクト (EOJ) を以下に示す。

表 2-1 ECHONET オブジェクト (EOJ)

	グループ コード	クラス コード	クラス名称	インスタンス コード
住宅用太陽光発電	0x02	0x79	住宅用太陽光発電	0x01~0x7F
	0x0E	0xF0	ノードプロファイル	0x01
HEMS コントローラ	0x05	0xFF	コントローラ	0x01~0x7F
	0x0E	0xF0	ノードプロファイル	0x01

※インスタンスコード 0x00 を全インスタンス指定コードとし、指定されたクラスの全インスタンスを指定することを示す

2. 2 ECHONET Lite サービス (ESV)

住宅用太陽光発電及びHEMS コントローラは、表 2-2に示される ECHONET Lite サービスコード (ESV) をサポートするものとする。

表 2-2 ECHONET Lite サービスコード (ESV)

サービスコード (ESV)	ECHONET Lite サービス内容	記号
0x51	プロパティ値書き込み要求不可応答	SetC_SNA
0x52	プロパティ値読み出し不可応答	Get_SNA
0x61	プロパティ値書き込み要求 (応答要)	SetC
0x62	プロパティ値読み出し要求	Get
0x71	プロパティ値書き込み応答	Set_Res
0x72	プロパティ値読み出し応答	Get_Res
0x73	プロパティ値通知	INF

なお、ESV = 0x60、0x63、0x6E、0x74、0x7A、0x7E、0x50、0x53、0x5E は、本仕様書に基づく認証試験は実施しない。

2. 3 オブジェクト別搭載 ECHONET プロパティ (EPC)

住宅用太陽光発電は、表 2-3、表 2-4 に示される機器オブジェクトの ECHONET プロパティ (EPC) を搭載するものとする。また、ノードプロファイルオブジェクトの ECHONET プロパティ (EPC) については、必須プロパティのみサポートする。

HEMS コントローラは、表 2-3、表 2-4 に示される機器オブジェクトの ECHONET プロパティ (EPC) に対して要求を送信するものとする。

表 2-3 機器オブジェクト (スーパークラス規定)

プロパティ名	EPC	アクセスルール		状態時 通知	備考
		Get	Set		
設置場所	0x81	◎	◎	◎	
規格 Version 情報	0x82	◎	—	—	
異常発生状態	0x88	◎	—	◎	
メーカーコード	0x8A	◎	—	—	
遠隔操作設定	0x93	○	○	—	
状態アナウンス プロパティマップ	0x9D	◎	—	—	
Set プロパティマップ	0x9E	◎	—	—	
Get プロパティマップ	0x9F	◎	—	—	

◎：必須、○：オプション、—：サポート対象外

表 2-4 機器オブジェクト (住宅用太陽光発電クラス規定)

プロパティ名	EPC	アクセスルール		状態時 通知	備考
		Get	Set		
動作状態	0x80	◎	—	◎	
識別番号	0x83	◎	—	—	*1
現在時刻設定	0x97	◎	—	—	*1, *2
現在年月日設定	0x98	◎	—	—	*1, *2
出力制御設定 1	0xA0	◎	◎	—	*1, *3
出力制御設定 2	0xA1	◎	◎	—	*1, *3
余剰買取制御機能設定	0xA2	◎	—	—	*1, *3
出力制御スケジュール	0xB0	◎	—	—	*1, *2
次回アクセス日時	0xB1	◎	—	◎	*1, *2
余剰買取制御機能タイプ	0xB2	◎	—	—	*1, *2
上限クリップ設定値	0xB4	◎	—	—	*1, *2
FIT 契約タイプ	0xC1	◎	◎	—	*1
自家消費タイプ	0xC2	◎	—	—	*1
設備認定容量	0xC3	◎	—	—	*1, *4
換算係数	0xC4	◎	—	—	*1, *4

系統連系状態	0xD0	◎	—	—	*1, *5
出力抑制状態	0xD1	◎	—	—	*1
瞬時発電電力計測値	0xE0	◎	—	—	
積算発電電力量計測値	0xE1	◎	—	—	
定格発電電力値 (系統連系時)	0xE8	◎	—	—	*1, *5

◎：必須、○：オプション、—：サポート対象外

*1 [ELOBJ]Release K 以降で必須化されたプロパティ、追加された必須プロパティ

*2 住宅用太陽光発電が持つ出力制御スケジュールにより出力制御を行う場合は搭載を必須とする。

*3 出力制御可能な太陽光発電の場合は、出力制御設定1、出力制御設定2のいずれか及び、余剰買取制御機能設定の搭載を必須とする。

*4 設備認定容量、換算係数はいずれかの搭載を必須とする。

*5 [ELOBJ]Release C～J に対し K 以降で値域、条件が追加されていることに注意

2. 4 アプリケーション動作

2. 4. 1 連続要求

住宅用太陽光発電及び HEMS コントローラは、要求と応答を 1 セットとし、ひとつの要求に対してひとつの応答を返す。HEMS コントローラから住宅用太陽光発電の同一ノードに対する要求を連続して送信する場合は、HEMS コントローラは、本仕様書で規定する「応答待ちタイマー値」を踏まえた設計とすること。応答を受信した場合は、「応答待ちタイマー値」をリセットし、新たな要求を送信することができる。

HEMS コントローラが、住宅用太陽光発電の応答前に「応答待ちタイマー値」よりも短い間隔で、再送、もしくは連続送信した場合、機器は要求を受け付けられない場合がある。なお、連続要求とは HEMS コントローラから住宅用太陽光発電の同一インスタンスではなく、同一ノードへの要求が連続する場合を示す。

2. 4. 2 応答待ちタイマー

HEMS コントローラからの要求に対する住宅用太陽光発電の応答における、HEMS コントローラの応答待ちタイマー値は表 2-5 に基づくものとする。

なお、住宅用太陽光発電は 2. 3 に記載するプロパティに対して OPC1 でアクセスされる場合と、第 3 章に記載した処理に関して、書き込み要求の場合は 5 秒未満、読み出し要求の場合は 20 秒未満に応答しなければならない。また、住宅用太陽光発電が受信する要求電文に含まれる DEOJ のインスタンスコードが、全インスタンス指定コード (0x00) の場合、最初の応答電文を書き込み要求の場合は 5 秒未満、読み出し要求の場合は 20 秒未満に応答しなければならない。

表 2-5 HEMS コントローラの応答待ちタイマー値

パラメータ名	値	備考
応答待ちタイマー 1	5 [sec]以上	Set の場合
応答待ちタイマー 2	20 [sec]以上	Get の場合

2. 4. 3 再送処理

住宅用太陽光発電及び HEMS コントローラはアプリケーション (ECHONET Lite) レベルでのタイムアウトが発生した場合、同じトランザクション ID (TID) のフレームで再送しないこと。なお、同一の要求であっても、TID を変更しながら送信することは、再送にはあたらないものとする。

2. 4. 4 処理対象プロパティカウンタ (OPC) 数

住宅用太陽光発電は OPC 数 6 まではサポートしなければならない。本項で示す OPC 数の最大値は、第 3 章で示すメッセージの処理を行うために必要な値であり、住宅用太陽光発電に対し、OPC 数 6 までのあらゆるプロパティの組み合わせへの対応を要求するものではない。

OPC 数が複数の要求には、要求時の EPC で指定されるプロパティの順番で応答する。

2. 4. 5 プロパティ値書き込み要求

HEMS コントローラは、SetC[0x61]要求時、[ELOBJ]で規定されているプロパティの値域外の値を設定してはならない。

住宅用太陽光発電は、機能を示すプロパティに対して HEMS コントローラからの SetC[0x61]要求を受けた場合、設定値が、実機器に搭載されていない値の場合は不可応答(SetC_SNA[0x51])を応答するものとする。設定値が、実機器に搭載されている値の場合、Set_Res[0x71]を受理応答として応答するものとする。ただし、自立運転中などの運転状態において設定値に対応しない場合は、不可応答を返してもよいものとする。

住宅用太陽光発電は、連続値を示すプロパティに対して HEMS コントローラからの SetC[0x61]要求を受けた場合、設定値が、ECHONET プロパティの定義範囲内かつ、実機器に搭載されている値域の範囲外である場合は、実機器に搭載されている値域の上限値または下限値に丸めた値をプロパティ値として設定し、Set_Res[0x71]を受理応答として応答することを推奨する。設定値が、実機器に搭載されている値域内である場合、Set_Res[0x71]を受理応答として応答するものとする。

住宅用太陽光発電からの応答は受理応答であるため、HEMS コントローラは、Set_Res[0x71]を受信した場合も、一定時間経過後に、住宅用太陽光発電からの状態変化通知または住宅用太陽光発電への Get[0x62]要求により、住宅用太陽光発電の状態を確認することを推奨する。

なお、住宅用太陽光発電が持つ出力制御スケジュールと出力制御設定1もしくは出力制御設定2のいずれを優先するかは住宅用太陽光発電が判断するものとする。

第3章 標準動作

本章では、住宅用太陽光発電・HEMS コントローラ間における標準的な動作を示す。本章で記載された要求電文、通知電文について、受信・応答することは必須である。例えば、機器側では、「規格 Version 情報、状態アナウンスプロパティマップ、Set プロパティマップ、Get プロパティマップ」の4つの EPC が格納された読み出し要求受信時は、必ず OPC 数=0x04 で応答しなければならないことを意味する。

また、HEMS コントローラ側は、本章記載のシーケンス例に基づいて、機器側が動作することを考慮することが望ましい。

図 3-1 に住宅用太陽光発電・HEMS コントローラ間における標準的な動作のシーケンス例を示す。ここでは、住宅用太陽光発電と HEMS コントローラ間の下位層におけるネットワーク接続処理は完了しているものとする。

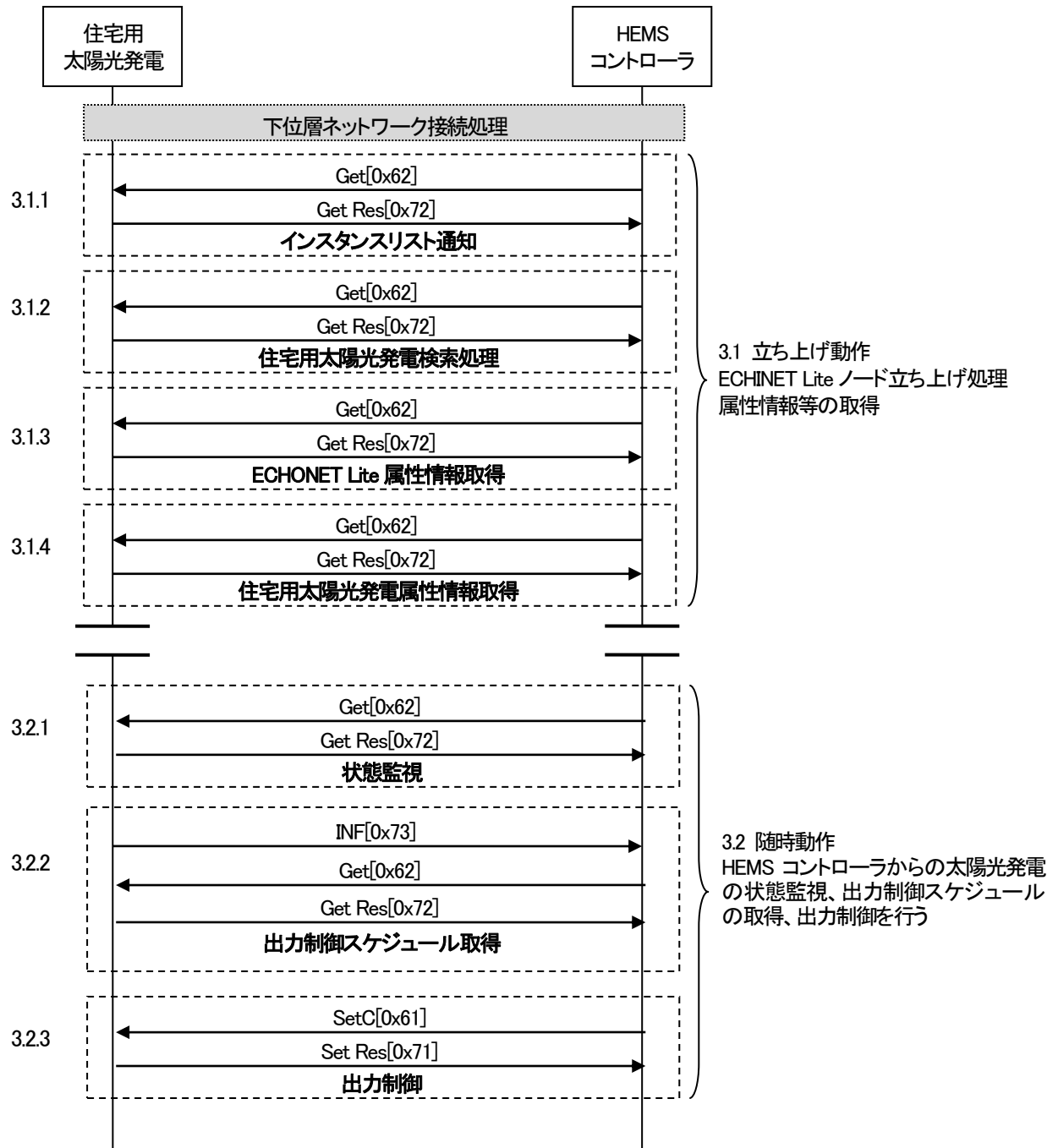


図 3-1 標準的な動作シーケンス例

3. 1 立ち上げ動作

3. 1. 1 ECHONET Lite ノード立ち上げ処理

住宅用太陽光発電及び HEMS コントローラは、下位層のネットワーク接続が完了した後、インスタンスリストの通知を行う。

インスタンスリスト通知には、①1 ノード、1 インスタンスの場合、②1 ノード、複数の同一クラスのインスタンスが格納されている場合、③1 ノード、複数の異なるクラスのインスタンスが格納されている場合、が考えられる。いずれの場合も、コントローラは、インスタンスリスト通知受信時に、管理対象機器の判別を行えること。

(1) 対象プロパティ (ノードプロファイルオブジェクト)

- ・ 0xD5 : インスタンスリスト通知

3. 1. 2 住宅用太陽光発電検索処理

HEMS コントローラは、起動時に住宅用太陽光発電が送信するインスタンスリスト通知を受信できなかった場合に備え、住宅用太陽光発電を検索する処理を実施する。具体的には、DEOJ を住宅用太陽光発電、インスタンスコードを 0x00、EPC を動作状態として、マルチキャストで読み出し要求 Get[0x62]を送信する。なお、ECHONET Lite 規格第 5 部に記載しているように、ノードプロファイルオブジェクト (0x0EF001) の自ノードインスタンスリスト S (0xD6) プロパティ宛てに、読み出し要求 Get[0x62]を送信することで、検索することも可能である。

(1) 対象プロパティ (住宅用太陽光発電クラス)

- ・ 0x80 : 動作状態

3. 1. 3 ECHONET Lite 属性情報取得

HEMS コントローラは、住宅用太陽光発電からインスタンスリスト通知を受けた後、ECHONET Lite 通信を行う上で必要となる ECHONET Lite の属性情報を要求する。ECHONET Lite の属性情報は、必要に応じ、再取得可能とする。

HEMS コントローラは、ECHONET Lite 属性情報に基づき住宅用太陽光発電が搭載している Appendix Release 番号ならびにプロパティを確認し、住宅用太陽光発電の搭載状況に合わせた要求を行うことを推奨する。

(1) 対象プロパティ (住宅用太陽光発電オブジェクト)

- ・ 0x82 : 規格 Version 情報
- ・ 0x9D : 状態アナウンスプロパティマップ
- ・ 0x9E : Set プロパティマップ
- ・ 0x9F : Get プロパティマップ

(2) シーケンス

図 3-2に ECHONET Lite 属性情報取得のシーケンス例を記載する。

- ① HEMS コントローラは、住宅用太陽光発電からインスタンスリスト通知を受けた後、対象プロパティ（組合せ、順序は任意）を Get[0x62]にて要求する。
- ② 住宅用太陽光発電は、Get_Res[0x72]にて該当プロパティ値を送信する。

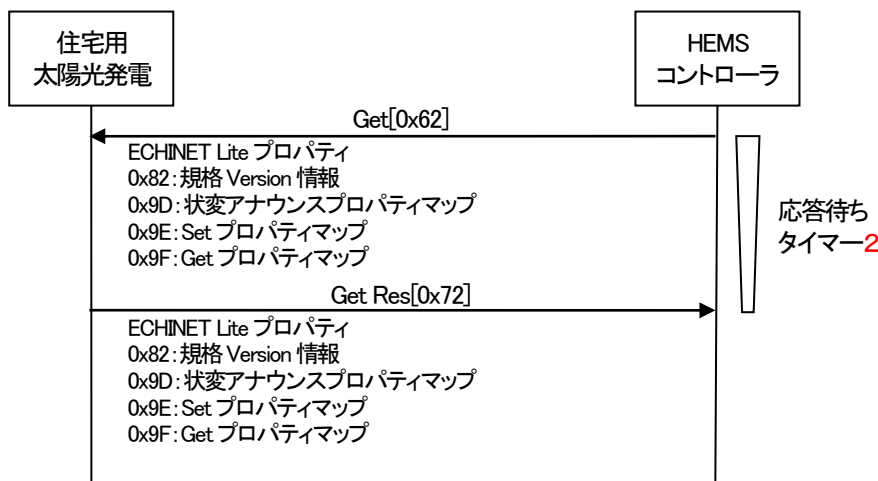


図 3-2 ECHONET Lite 属性情報取得シーケンス例

3. 1. 4 住宅用太陽光発電属性情報等取得

HEMS コントローラは、住宅用太陽光発電から ECHONET Lite 属性情報を取得した後、必要に応じて住宅用太陽光発電の属性情報等を要求する。住宅用太陽光発電の属性情報等は、必要に応じて、再取得可能とする。

(1) 対象プロパティ（住宅用太陽光発電オブジェクト）

（プロパティ その1）

- ・ 0x80：動作状態
- ・ 0x83：識別番号
- ・ 0x88：異常発生状態
- ・ 0x8A：メーカーコード
- ・ 0xE0：瞬時発電電力計測値
- ・ 0xE1：積算発電電力量計測値

（プロパティ その2）

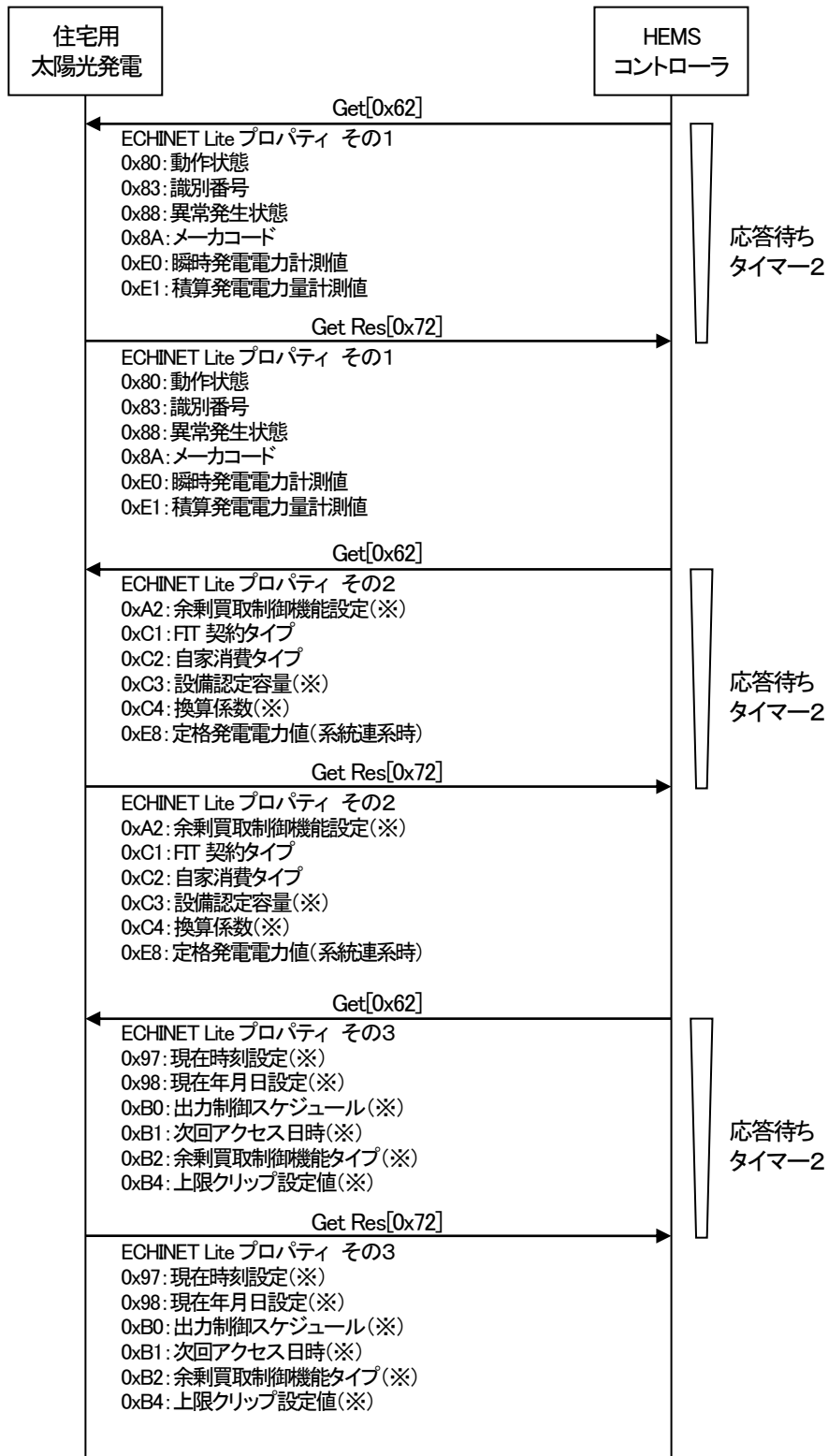
- ・ 0xA2：余剰買取制御機能設定（※1）
- ・ 0xC1：FIT 契約タイプ
- ・ 0xC2：自家消費タイプ

- ・ 0xC3：設備認定容量 (※2)
 - ・ 0xC4：換算係数 (※2)
 - ・ 0xE8：定格発電電力値 (系統連系時)
- ※1 出力制御可能な太陽光発電の場合は搭載が必須
- ※2 いずれかの搭載が必須
(プロパティ その3)
- ・ 0x97：現在時刻設定 (※3)
 - ・ 0x98：現在年月日設定 (※3)
 - ・ 0xB0：出力制御スケジュール (※3)
 - ・ 0xB1：次回アクセス日時 (※3)
 - ・ 0xB2：余剰買取制御機能タイプ (※3)
 - ・ 0xB4：上限クリップ設定値 (※3)
- ※3 出力制御スケジュールにより出力制御を行う場合は搭載が必須

(2) シーケンス

図 3-3 に住宅用太陽光発電属性情報等取得のシーケンス例を記載する。

- ① HEMS コントローラは、住宅用太陽光発電から ECHONET Lite 属性情報を取得した後、必要に応じて対象プロパティ (組合せ、順序は任意) を Get[0x62]にて要求する。
- ② 住宅用太陽光発電は、Get_Res[0x72]にて該当プロパティ値を送信する。



※ 条件付き必須

図 3-3 住宅用太陽光発電属性情報等取得シーケンス例

3. 2 随時動作

3. 2. 1 住宅用太陽光発電状態監視

住宅用太陽光発電の状態監視は、HEMS コントローラが必要に応じ対象のプロパティを取得して行う。

(1) 対象プロパティ (住宅用太陽光発電オブジェクト)

- ・ 0x80 : 動作状態
- ・ 0x88 : 異常発生状態
- ・ 0xD0 : 系統連系状態
- ・ 0xD1 : 出力抑制状態
- ・ 0xE0 : 瞬時発電電力計測値
- ・ 0xE1 : 積算発電電力量計測値

(2) シーケンス

図 3-4 に住宅用太陽光発電状態監視のシーケンス例を記載する。

① HEMS コントローラは、住宅用太陽光発電から住宅用太陽光発電属性情報を取得した後、一定時間後 (※) に対象プロパティ (組合せ、順序は任意) を必要に応じ Get[0x62] で要求する。

※ この期間は、ノードの通信処理能力及び通信回線の帯域を考慮することを推奨する。

② 住宅用太陽光発電は、Get_Res[0x72] にて当該プロパティ値を送信する。

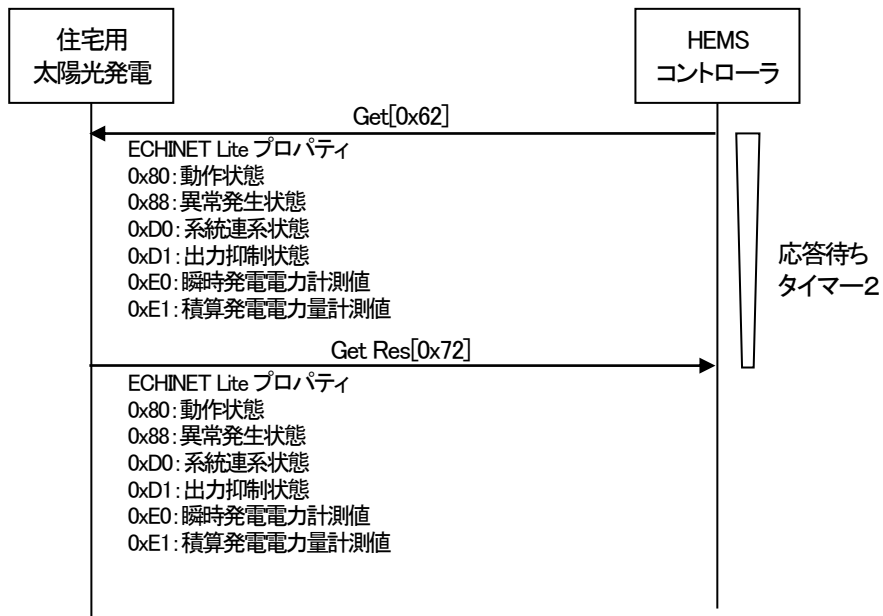


図 3-4 住宅用太陽光発電状態監視シーケンス例

3. 2. 2 出力制御スケジュール取得

住宅用太陽光発電の出力制御スケジュール取得は、HEMS コントローラが次回アクセス日時
の状変アナウンス INF[0x73]を受信するか、必要に応じ対象のプロパティを取得して行う。

(1) 対象プロパティ (住宅用太陽光発電オブジェクト)

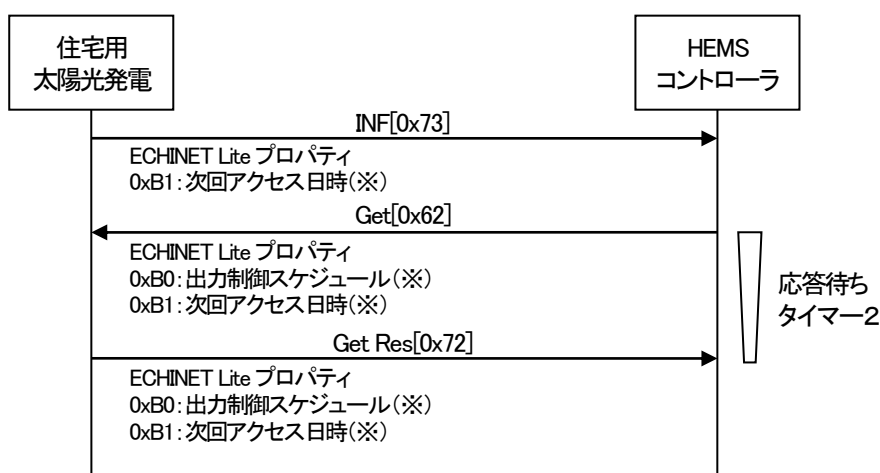
- ・ 0xB0 : 出力制御スケジュール
- ・ 0xB1 : 次回アクセス日時

※ 出力制御スケジュールにより出力制御を行う太陽光発電の場合は搭載が必須

(2) シーケンス

図 3-5 に出力制御スケジュール取得のシーケンス例を記載する。

- ① 住宅用太陽光発電は次回アクセス日時を状変アナウンス INF[0x73]で通知する。
- ② HEMS コントローラは、住宅用太陽光発電から次回アクセス日時の状変アナウンス [0x73]を受信した後もしくは、必要に応じて出力制御スケジュールと次回アクセス日時を Get[0x62]で要求する。
※ 状変アナウンスを受信できない場合があるため、次回アクセス日時を定期的に監視し、値に変化があれば出力制御スケジュールを取得することを推奨する。なお、監視間隔は、ノードの通信処理能力及び通信回線の帯域を考慮することを推奨する。
- ③ 住宅用太陽光発電は、Get_Res[0x72]にて出力制御スケジュールと次回アクセス日時を送信する。



※ 条件付き必須

図 3-5 出力制御スケジュール取得シーケンス例

3. 2. 3 出力制御

HEMS コントローラは、必要に応じ住宅用太陽光発電の出力制御設定1 [0xA0]または出力制御設定2 [0xA1]を設定することで、住宅用太陽光発電の発電上限電力を変更することができる。

(1) 対象プロパティ (住宅用太陽光発電オブジェクト)

- 0xA0 : 出力制御設定1 (※)
- 0xA1 : 出力制御設定2 (※)

※ 出力制御可能な太陽光発電の場合はいずれかの搭載が必須

(2) シーケンス

図3-6に出力制御のシーケンス例を記載する。

① HEMS コントローラは、住宅用太陽光発電の出力制御設定1 [0xA0]または出力制御設定2 [0xA1]を SetC[0x61] (応答要) にて設定することで、住宅用太陽光発電の発電上限電力を変更する。

住宅用太陽光発電は、HEMS コントローラからの SetC[0x61]要求を受け付けた場合、設定値が実機器に搭載されている値域内の場合は、Set_Res[0x71]を応答するものとする。ただし、住宅用太陽光発電は設定値での出力制御が不可能な場合は、設定値を越えない範囲で最も近い値で制御を行う。また、設定値が実機器に搭載されている値域の上限値を超える場合は、実機器に搭載されている値域の上限値をプロパティ値として設定し Set_Res[0x71]を応答するもの (推奨) と SetC_SNA[0x51]を応答するものがあることに注意すること。

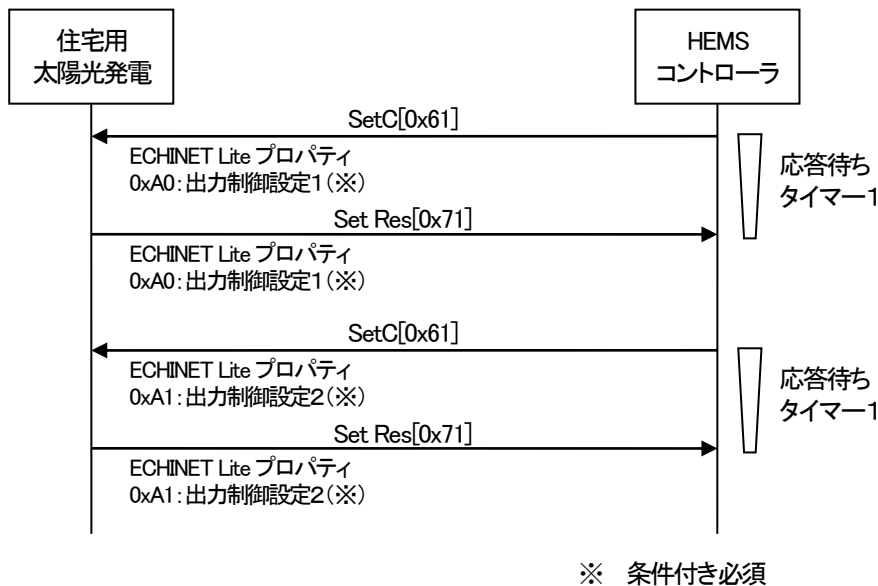


図 3-6 出力制御シーケンス例

3. 3 異常時動作

3. 3. 1 異常発生状態通知

住宅用太陽光発電は、機器が定める異常状態となった場合、異常発生状態（異常発生有）を HEMS コントローラに通知する。また、異常状態から復帰した場合は、異常発生状態（異常発生無）を HEMS コントローラに通知する。住宅用太陽光発電が異常発生中における HEMS コントローラの動作は規定しない。

(1) 対象プロパティ（住宅用太陽光発電オブジェクト）

- ・ 0x88：異常発生状態

3. 4 遠隔操作（オプション）

3. 4. 1 遠隔操作時に HEMS コントローラで実施すべき処理

住宅用太陽光発電および HEMS コントローラが遠隔操作設定プロパティ（EPC=0x93）に対応している場合の処理を記載する。

HEMS コントローラが遠隔操作を実施する場合には、HEMS コントローラは、ノードプロファイルオブジェクトまたは住宅用太陽光発電オブジェクトの識別番号により住宅用太陽光発電を機器毎に一意に識別した上で、HEMS コントローラと住宅用太陽光発電間の全ての制御操作の際に、遠隔操作設定（EPC=0x93）を先頭に付加して書き込み要求する。

3. 4. 2 遠隔操作時の出力制御設定 1・出力制御設定 2 の設定と更新

HEMS コントローラは、遠隔操作設定プロパティを先頭に付加した形で、出力制御設定 1 [0xA0] または出力制御設定 2 [0xA1] の書き込みを SetC[0x61]にて要求する。

(1) 対象プロパティ（住宅太陽光発電オブジェクト）

- ・ 0xA0：出力制御設定 1
- ・ 0xA1：出力制御設定 2
- ・ 0x93：遠隔操作設定（オプション）

(1) シーケンス

図 3-7 に出力制御設定 1 の設定シーケンス例を記載する。本シーケンスの実行に先立ち、HEMS コントローラは、住宅用太陽光発電オブジェクトの識別番号により住宅用太陽光発電属性情報等取得（第 3. 1. 4 項）を行い、識別番号を取得し、住宅用太陽光発電を一意に識別しておくこと。

① HEMS コントローラは、遠隔操作設定プロパティを先頭に付加した形で、出力制御設定 1

[0xA0]を住宅用太陽光発電に SetC[0x61] (応答要) にて要求する。

- ② HEMS コントローラが、出力制御設定1を Get[0x62]にて要求する際、遠隔操作設定プロパティは付与しない。

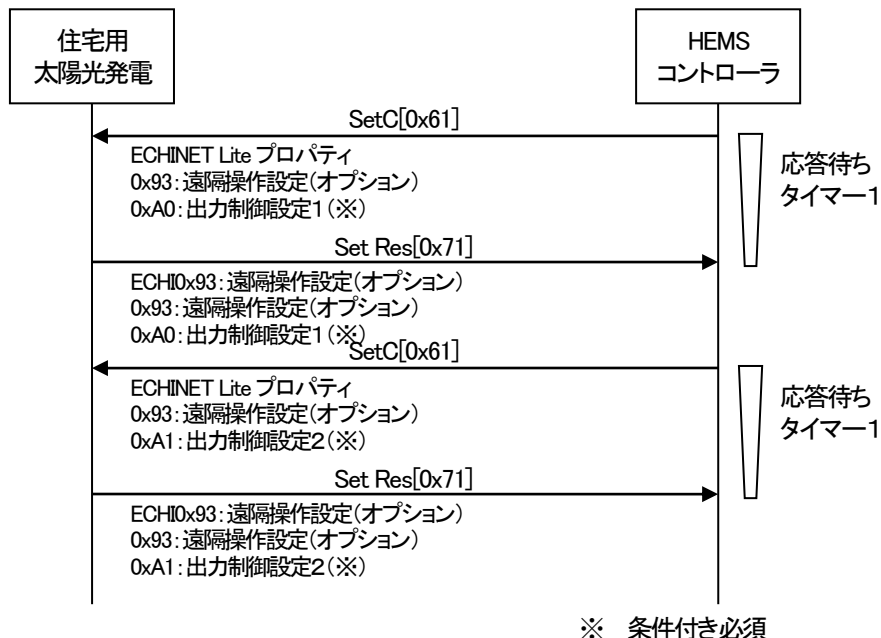


図 3-7 出力制御設定1のシーケンス例 (遠隔操作設定使用時)

3. 5 その他

- 住宅用太陽光発電は夜間等で発電が行われない場合、ECHONET Lite ノードとしての機能が停止し、ECHONET Lite 通信に応答しなくなるものもある。
なお、発電が行われない場合に ECHONET Lite ノードとしての機能が停止する住宅用太陽光発電は、発電が再開し、ECHONET Lite 通信が可能になった場合、ネットワークへの再参入として、インスタンスリストの通知を行うこと。

第4章 HEMS コントローラが配慮すべきポイント

HEMS コントローラが、住宅用太陽光発電の監視制御を行う際に、住宅用太陽光発電特有の機能を考慮する必要がある。

本章で挙げている事例は一例であり、HEMS コントローラがアプリケーション開発する際の参考である。

4. 1 住宅用太陽光発電に関する留意事項

- ・ マルチ入力 PCS は太陽光で発電した電力を蓄電池や車載用蓄電池に充電する機器があるが、充電した電力も含めて積算発電電力量とする機器もある。
- ・ 住宅用太陽光発電の計測値は、設置環境や運転状態によって精度が異なる場合がある。また、演算によって計測値とする機器もある。
- ・ 自立運転中など出力制御が必要でない運転状態においては、出力制御設定1(%)、出力制御設定2(W)に対して、一時的に不可応答を応答する機器もある。

4. 2 出力制御に関する留意事項

- ・ 出力制御設定1、出力制御設定2と出力制御スケジュールの優先度判断は住宅用太陽光発電によって判断される。ただし、日本市場においては、出力制御設定1、出力制御設定2により設定を行っても、出力制御スケジュールで規定される上限値の範囲内で実際の制御が行われる
- ・ 日付が変わったり機器が再起動したりした場合など、出力制御設定1、出力制御設定2の設定値が出力制御不要を示す値になることがあるので、HEMS コントローラは出力制御設定1、出力制御設定2を監視し、必要に応じて再設定することを推奨する。

4. 3 遠隔操作で考慮すべきポイント

HEMS コントローラメーカーは、住宅用太陽光発電を遠隔監視、遠隔設定、遠隔制御する場合は、以下の文書を参考に設計すべきである。

- ① 「電気用品の技術上の基準を定める省令」

http://elaws.e-gov.go.jp/search/elawsSearch/elaws_search/lsg0500/detail?lawId=425M60000400034

<http://www.jeea.or.jp/course/contents/11203/>

- ② 「電気用品の技術上の基準を定める省令の解釈の一部改正について」(20130424 商局第1号：平成25年5月10日)

<http://www.meti.go.jp/policy/consumer/seian/denan/kaishaku/gijutsukijunkaishaku/kaiseibun20130510.pdf>

<HEMS コントローラが考慮すべきポイント>

HEMS コントローラが同省令を順守する方式を提供する際に注意すべきポイントを記載する。

- ・HEMS コントローラは、操作対象機器の識別管理を実施すること（識別番号にて操作対象機器を特定する）。
- ・HEMS コントローラは、遠隔操作において操作元を認識し、その後一定時間は別の操作元からの操作を受け付けないよう制御すること。
- ・公衆回線経由操作に関しては、遠隔操作設定（0x93）付与して設定制御 EPC をペアで送信すること。
- ・遠隔操作時には、住宅用太陽光発電の状態監視を行うこと。
- ・誤動作防止対策を講じること。
- ・HEMS コントローラは、公衆回線に関して通信途絶をチェックし、公衆回線の途絶が継続する時は、上記省令の内容を十分に考慮すること。